

守山まるごと活性化プラン検討委員会
第4回 学区別会議（吉身学区）

日時：平成25年10月2日（水）

19：30～21：30

場所：吉身会館

次 第

1. あいさつ
2. 説明
 - 本日の進め方
 - 第3回検討結果の説明
3. 意見交換（テーブル毎に）
 - 前回のふりかえり
 - 学区のまちづくりの取り組みを考える
4. 結果の発表・共有
5. 次回の予定など

守山まるごと活性化プラン検討委員会（学区別会議）委員名簿

【 吉身学区 】

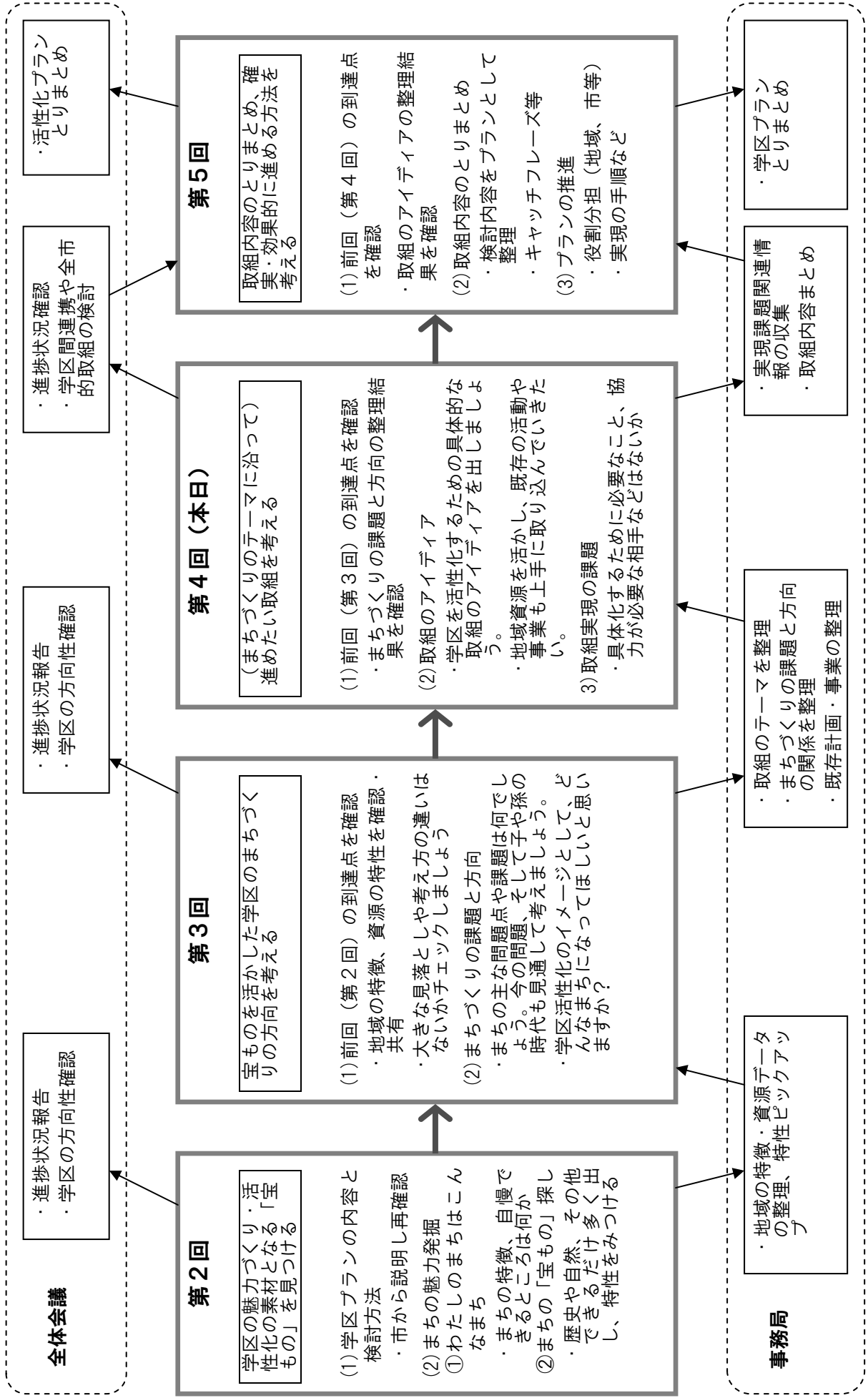
H250724 現在 敬称略

No.	自治会	名前	
1	元町	林 暹	はやし すすむ
2	元町	三嶋 一博	みしま かずひろ
3	元町	松下 浩	まつした ひろし
4	下之郷	林 静雄	はやし しずお
5	下之郷	富樫 孝	とがし たかし
6	吉身西町	吉村 隆史	よしむら たかし
7	吉身西町	永治 紀雄	ながや のりお
8	吉身西町	松下 正信	まつした まさのぶ
9	吉身中町	宮川 良知	みやがわ よしとも
10	吉身中町	森川 勝	もりかわ まさる
11	吉身中町	南條 博志	なんじょう ひろし
12	吉身東町	小西 由美子	こにし ゆみこ
13	吉身東町	千代 照男	ちしろ てるお
14	吉身東町	山本 法子	やまもと のりこ
15	レックス式番館	山田 景一	やまだ けいいち
16	レックス式番館	日置 眞由美	ひおき まゆみ
17	岡	高橋 勝美	たかはし かつみ
18	岡	竹原 壽良	たけはら ひさよし
19	岡	渡辺 慎一	わたなべ しんいち
20	立入	奥村 利明	おくむら としあき
21	立入	山川 良和	やまかわ よしかず
22	立入	四辻 厚	よつつじ あつし
23	浮気	中嶋 彰	なかじま あきら
24	浮気	保良 勝	やすら まさる
25	浮気	奥村 健三	おくむら けんぞう
26	グラントマン守山	三宅 和夫	みやけ かずお
27	グラントマン守山	灰谷 章夫	はいたに あきお
28	グラントマン守山	森田 要一	もりた よういち

事務局

- ・ 濱崎一志（アドバイザー：滋賀県立大学 人間文化学部教授）
- ・ 西井秀隆 ・ 西木 弘 ・ 柿本勝幸
- ・ 坪内稔夫 ・ 吉原 史雄 ・ 足立慎也
- ・ 田渕誠一 ・ 義浦慶子 ・ 倉嶋祐介

学区別会議の進め方



守山まるごと活性化プラン検討委員会 学区別会議 ニュースレター

第3回 学区別会議 [吉身学区]

平成 25 年 8 月 30 日（金）午後 7 時半から吉身会館において、守山まるごと活性化プラン検討委員会の第 3 回学区別会議を開催しました。

吉身学区にお住まいの住民 24 名にお集まりいただき、まず、前回会議で出された意見について、大きな見落としがないかふりかえりをしました。次に、学区のまちづくりを進めていく上の課題や方向性について話し合い、最後に参加者同士で共有しました。

学区別会議の様子

■当日のプログラム

- ①挨拶：三宅学区長より
- ②内容説明：会議当日のプログラム内容、第 2 回検討結果の説明
- ③テーブルに分かれて意見交換：『前回会議のふりかえり』、
『学区のまちづくりの課題と方向性』
- ④結果の発表・共有：テーブル毎で話し合った内容を発表して共有



▲テーブル毎に話し合いました

テーブル毎に吉身学区の『まちづくりの課題と方向性』について話し合いました

- 4つのテーブルに分かれ、前回会議で出された吉身学区の『良いところ』や『たからもの』の確認を行い、さらに、それらの特徴をもとに、『学区のまちづくりの課題』を話し合いました。
- 『たからもの』としては、豊富な水資源である「石田川」や「守山川」、「吉身川」などが抜けているという意見がありました。また、1月に火祭りが開催される「住吉神社」や5月に豊年踊りが開催される「馬部石邊神社」が抜けているという意見がありました。さらに、弥生時代の巨大環濠集落として著名な「下之郷遺跡」は外せないという意見がありました。
- 『まちづくりの課題』については、「新旧住民のつながりが弱いこと」と「道路や公園、河川等の施設を充実・整備する必要であること」、「住宅開発により自然や広場等が減少していること」などの意見が出されました。
- 『今後のまちづくりの方向性』としては、「史跡や施設の活用」や「新旧住民の交流を進めるためのきっかけづくり」、「まちの現状を活かした魅力づくり」など、今後のまちづくりのヒントになるような意見が多く出されました。



▲出された意見は記録



▲類似の意見をグルーピング



▲成果を発表し参加者で共有

■お問い合わせ

守山市政策調整部みらい政策課

〒524-8585 守山市吉身二丁目5番22号

TEL: 079-582-1162 e-mail: miraiseisaku@city.moriyama.lg.jp

守山まるごと活性化計画 吉身学区 第3回会議

1. 実施概要

学区・回	吉身学区 第3回
日時	2013年8月30日(金) 19:30~21:30
会場	吉身会館
参加者	住民24人(元町3人、下之郷2人、吉身西町3人、吉身中町2人、吉身東町3人、 レックス式番館2人、岡1人、立入3人、浮気3人、グランドメゾン守山2人) 守山市(西井、西木、柿本、坪内、足立) 地域未来研究所(田淵、小野田、倉嶋)
会場設営	4テーブルを配置。くじでテーブルを指定して着席
実施経過	<p>1. 挨拶</p> <p>①開会挨拶(坪内課長補佐)</p> <p>②開会挨拶(三宅学区長)</p> <p>2. 説明</p> <p>①本日のプログラム内容(田淵)</p> <p>②第2回検討結果の説明(田淵)</p> <p>3. 意見交換(テーブル別ワーク)</p> <p>①前回のふりかえり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前回の会議結果を整理した資料を見ながら、抜けているたからものの追加、分類の再検討を行った。 ・「豊富な水資源」の項目では、石田川、守山川、吉身川、目田川、伊勢戸川、金ヶ森川の追加があった。 ・「地域に守られている神社仏閣」の項目では、住吉神社、馬部石邊神社の地区内の神社仏閣の追加があった。 ・「昔から受け継がれている史跡」の項目では、下之郷遺跡、多くの遺跡の追加があった。 ・「祭り」の項目では、住吉神社の火祭り、馬部石邊神社の豊年踊りの追加があった。 ・「人が集まる施設」の項目では、守山駅(東口)、駅前公園噴水、レックスの追加があった。 ・「人が集う仕組み」の項目では、バーベキュー大会の追加があった。 ・「地域に親しまれている公園・広場など」の項目では、ふれあい公園の追加があった。

②学区のまちづくりの課題と方向性

- ・学区が抱えるまちづくりの課題については、各テーブルとも共通して「新旧住民のつながりの弱さ」による活力低下や「住宅開発による自然や広場などの減少」、「道路や公園、河川などの施設の充実・整備」など社会基盤に関わる意見が多く出された。
- ・今後のまちづくりの方向性については、「史跡や施設の活用」や「新旧住民の交流を進めるためのきっかけづくり」、「まちの現状を活かした魅力づくり」など、今後のまちづくりのヒントになるような意見が多く出された。
- ・課題及び方向性のカードは模造紙に貼り、グルーピングして概略の特徴を整理した。

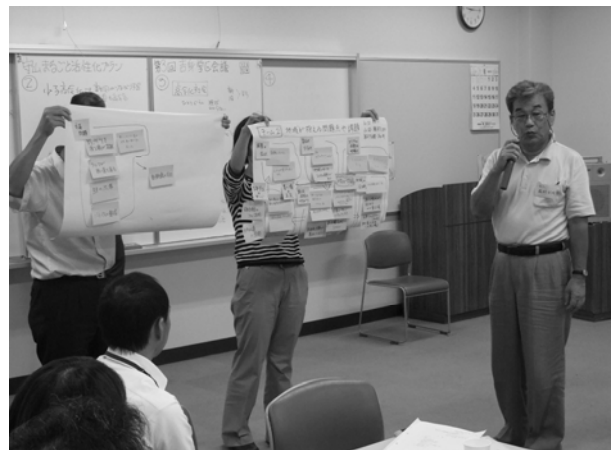
4. 結果の発表・共有

- ・テーブル毎に参加者の代表がまちづくりの課題、今後のまちづくりの方向性について検討結果を発表した。

5. その他

- ・次回会議の開催日時は、会長会議にて開催日を決定、委員に周知することとなった。

第3回吉身学区会議の様子



2. 第3回学区会議の意見まとめ

地区のまちづくりの課題や方向性をまとめた。

<吉身学区のまちづくりの課題>

■住宅開発による自然や広場などの減少

- ① 住宅開発が進み緑地がなくなるとともに、ホテルも減少している。三上山も見えなくなった。
- ② 子どもの遊び場がなくなるとともに、商店街も宅地化が進んでいる。

■自動車増加による交通問題などの発生

- ③ 自動車の増加により抜け道を通ったり、横断歩道を止まらないなどの自動車マナーが低下している。
- ④ 通学路に指定されている道路の安全性が確保されていない。子どもが危険である。
- ⑤ 路線バスの本数が少ないなど、公共交通のサービスレベルが低い。

■道路や公園、河川などの施設の充実・整備

- ⑥ 宅地化の影響により、生活道路がややこしくなっている。
- ⑦ 幹線道路でも街灯が少なく道路が暗い。
- ⑧ さまざまな世代が集える公園がない。公園があってもボール遊び禁止などの規則がある。

■史跡・施設の有効活用

- ⑨ JR守山駅を起点とした史跡めぐりのウォーキングマップの作成やレンタサイクルの活用。
- ⑩ 公園や広場でフリーマーケットなどのイベントを開催し、にぎわいを創出する必要がある。

■交流の場の不足

- ⑪ 人口増加に対応した施設（公民館、広場など）の整備がされていない。
- ⑫ JRや河川により、地域が分断されている。

■新旧住民のつながりの弱さ

- ⑬ マンション・アパートに住んでいる住民との交流が難しい。
- ⑭ 人のつながりが薄い。隣に誰が住んでいるのかわからない。
- ⑮ 新住民が自治会活動に参加してくれない。その結果、自治会の新旧交代ができていない。

■地域の伝統行事活動の担い手不足

- ⑯ 行事参加のわずらわしさから自治会を脱会する人がいる。
- ⑰ 伝統行事の継承について早めに対応する必要がある。

■少子高齢化の進展

- ⑱ 高齢者、特に団地の独居老人が増加している。

■障壁となる問題

- ⑲ 行政と個人生活の係わり方。法規、法律、市民条例の問題。

2.1 地域のまちづくりの課題、方向

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
<p>住宅開発による 自然や広場などの減少</p>	<p>みどりの減少。だんだん竹藪等が減って来ている。 緑地が少なくなってきた。 三上山が見えなくなってきた。 子供の遊び場がない。 住宅の増加→空地の減少。 商店街がなくなる。 宅地開発が進んで今までのどのどかな景色がなくなる。 ホタルを増やすための河川の維持管理方法。具体的にどう守り、育てれば良い？ 動物（ホタル、ハリヨ、あひる等）を河川で飼う。子供の教育にも活用。守っていくルールを。川を知らない人へのアピール。 無秩序な宅地開発。自然を守っていかなくては！ 農業区（ゾーン）と生活ゾーンの分割？</p>	<p>○里の雰囲気を生かすまちづくり ○細かな土地利用の設定</p>
<p>自動車増加による 交通問題などの発生</p>	<p>R8の渋滞。 クルマが細い道を通る。 交差点、進入違反多い。 交通は自家用車が中心。 自転車のマナーが悪い（一部と思われるが）。ルールづくりが課題。 自転車道路の一貫性がない。途中で切れている。自転車地図などが必要。 住民の増加により車が増えて来た。車の通り抜け等あり。 新しいスーパー等が出来、車の量が多くなった。 信号のタイミングが悪い。 信号のない横断歩道。車止まってくれない。ルールとマナーが必要。</p>	<p>○公共交通サービスの確保 ○安全・安心の確保</p>

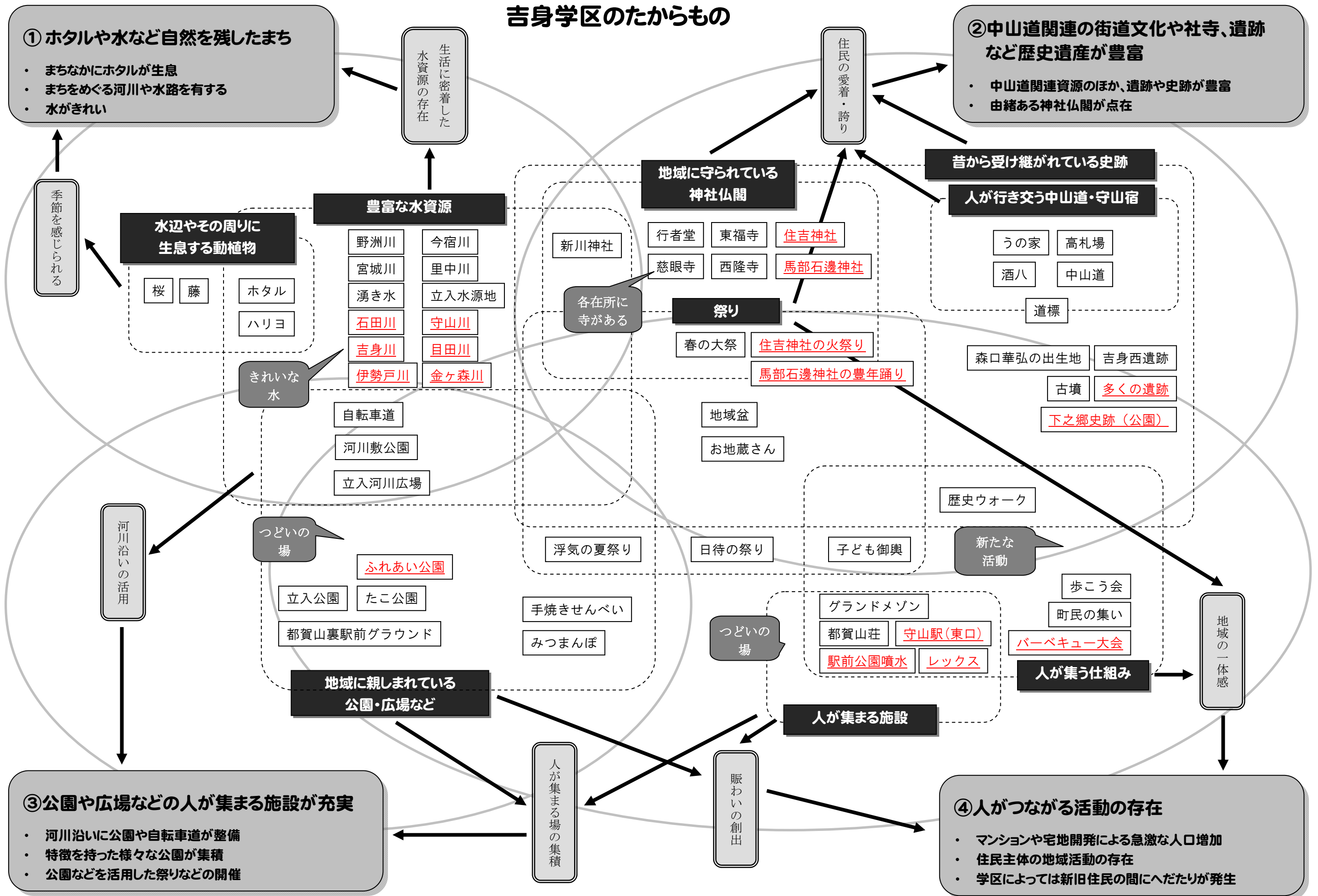
学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
<p>自動車増加による 交通問題などの発生</p> <p>道路や公園、河川などの 施設の充実・整備</p>	<p>歩行者（園児）多し（横断歩道）。レインボーターン車が止まってくれない。</p> <p>新幹線の活用。</p> <p>線路を横切る道が狭い。よく使うのに不便。</p> <p>地域内の公共交通の便が悪い。バスの本数が少ない。</p> <p>地下道危険。</p> <p>野洲川を渡る橋が混雑。</p> <p>生活道路の整備。</p> <p>通学路の安全整備。子供の安全。</p> <p>あぶない通学路を整備してほしい。子供が危険。</p> <p>宅地開発が進んで、道路が整備されてなく、ややこしい道に。</p> <p>バイパスの整備。</p> <p>県道吉身5丁目交差点の水たまり（雨の日）。</p> <p>道路に名前を付けてほしい（できるだけ多く→すべて）。愛着もわく。生活の中で目印になる。</p> <p>グリーンロード街灯。暗い（県道）。</p> <p>赤ノ井道街灯。暗い（県道）。</p> <p>子供の遊び場がない。公園があってもボール遊びは禁止されている。子供たちがボール遊びや家族で遊べる共通の公園があれば。河川敷ふれあい？</p> <p>いろんな世代が遊べる場…広さが必要。</p> <p>ふれあい公園に売店がない。</p> <p>守山駅東口には店がない。</p> <p>身近なところに病院がない（東町）。</p> <p>水の排水がきれいではない。</p> <p>川の整備。雨が降るとあふれてしまいう川が多い。昔は船が通っていた川もあった。</p> <p>本をゆっくり読める場所がない（図書館）。</p>	<p>○まちの現状を活かした魅力づくり</p> <p>○吉身会館などの既存施設の充実・活用</p> <p>○河川公園の活用</p> <p>○イベントの開催</p>

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
<p>交流の場の不足</p>	<p>JRで分断されている。 家が増えて住民の集まる場所がない。 吉身川のホタル（700匹）。細い道の活用（交流の場）。 自治会館が狭い。人口増に対してまちの発展に対応できていない。 通れる場所に限られる⇔集まる場。 JR守山駅（西口、東口）より神社仏閣めぐりのウォーキングマップ。問題点：歩道の整備を。 JR守山駅よりレンタル自転車の活用（サイクルマップ）。問題点：サイクルロードの整備。 おみやさん（吉身東町）有効活用を。 フリーマーケット等小規模でもイベントを！ 公園・広場などのにぎわいのある利用方法の拡大が必要ではないか。例えばフリーマーケットなど。 遺跡を基点にして周辺の開発。河川の有効利用（標示と遊歩道）。人が集まれるきっかけとして！ 旧中山道の活性化。斉藤小児科～まるぜん和菓子店。守山学区との格差。 将来的に整合をもった開発計画をもっと細かな所まで作ること。補助金ありきで作ったバイエロジー自転車道、今は行政でも考えもしていない。 小さな公園の活用ができてない。せまい、影がない。何かが足りない。 体力づくりなどすると良い。 歴史を体系的に見てみる必要があるか。史跡、宝物を歴史軸においてみて整理してみたらどうか。伊勢道がどこにあるか。</p>	<p>○歴史のまちとしてのPR ○旧中山道などの史跡の活用 ○史跡をつないだルートの整備 ○イベントの開催 ○まちあるきのツールづくり ○大学・企業を中心とした活性化</p>
<p>史跡・施設の有効活用</p>	<p>（このセルは上記の具体的な内容と重複する）</p>	<p>（このセルは上記の方向性・解決策と重複する）</p>

学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
<p style="text-align: center;">少子高齢化の進展</p>	<p>10～20年後、空き家が増えるのでは？</p> <p>休日、子供の声が聞こえない。</p> <p>地域の中でも子供の有無がある。</p> <p>個人情報壁。</p> <p>個人情報問題で実情がつかめない。</p> <p>高齢者の無事の確認。災害時の問題。</p> <p>災害時の助け合いできるのか？</p> <p>スズメバチ。一人住まいの老人の手助け。</p> <p>高齢の一人住まい。危険があっても近くの人に助けを呼べない。</p> <p>独り住まいの高齢者の増加。特に団地。</p> <p>高齢化社会（10年後）。</p> <p>若い人に住んでもらうことが必要。</p> <p>若年層住民の移入対策。</p> <p>住んでくれている若い方々の40年後。</p> <p>住民の高齢化。若年層住民の移入対策。</p> <p>旧家の道も広くする→すみやすさ向上。</p> <p>役員の高齢化（定年退職等による）。</p> <p>根本的問題。委員の大選に問題あり。</p> <p>年齢、性別をもっと多面的に人選すべき（70歳以上が集まってどうなるの？）。</p> <p>老齡化が岡町の最大の課題。これを今回の街づくりとの関連でどう道筋を作れるか。防災対策。</p>	
<p>新旧住民のつながりの弱さ</p>	<p>ゴミの出し方がわからない転入者。</p> <p>ゴミ集積所で出し方が出来ない。アパート。</p> <p>行政の説明不足（ごみ）。</p> <p>マンション・アパート（賃貸）住民との交流が難しい（入れ替わりが多い為）。</p> <p>顔が見えない。</p>	<p>○新旧住民の交流を進めるためのきっかけづくり</p> <p>○新旧住民が自治会役員になるしくみづくり</p>

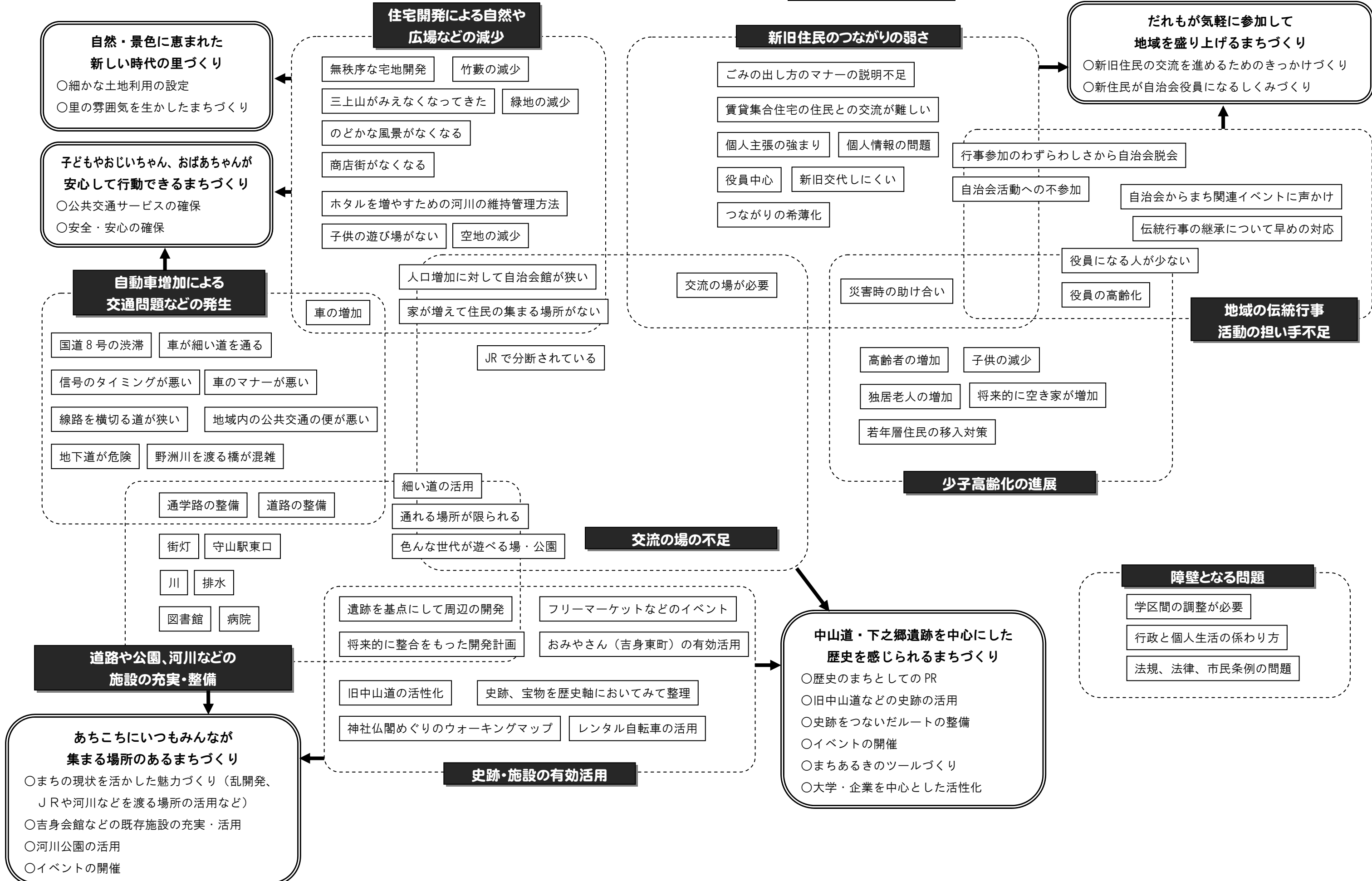
学区の課題	具体的な内容	方向性・解決策
<p>新旧住民のつながりの弱さ</p>	<p>新しい家が建ち、新住民との付き合い等。 賃貸マンション・中小集合住宅住民とのコミュニケーション。住民の出入りが激しい。 個人の主張が強まっているようだ。 自治会活動に参加してくれない。 若い人にいろんな事に参加してほしい。社会人になると来なくなる。青年団が必要。 新旧住民の交流。 自分も含め新住民に守山、吉身学区の事をどうして知らせるかの取組がされていない。 町民や親子でふれ合う場が必要（神社・公園の利用）。 新旧交代しにくい。 新旧交代しやすい仕組みづくりが課題。 人のつながりが薄い。例えば、地区活動参加者の固定化。新規住宅の増加→新住人の増加。 日頃の住民の付き合いが薄い。隣に誰が住んでいるのか？ 配布物について、基本的には組長が配るか、以前は各戸に配布していた。近年バイン ダーにはさんだ状態で回される。つながりの希薄化が省力化か。 平日、まちに人がいない（新住民）。災害時の助け合いが不可能。 役員が中心になってしまう。 お宮さん等の行事参加のわずらわしさから自治会脱会も有り、難しい。 自治会からまち関連イベントに声かけ→よろこんで参加してくれた。 伝統行事の継承について早めの対応。技術者不足。 役員になる人が少ない。活性化するのであれば自分から進んで立候補。 学区間の調整が必要。 行政と個人生活の係わり方。守山市は少し介入しすぎ？無駄な経費も多い。 法規、法律、市民条例の問題。</p>	
<p>地域の伝統・行事・活動の 担い手不足</p>		
<p>障壁となる問題</p>		

吉身学区のたからもの



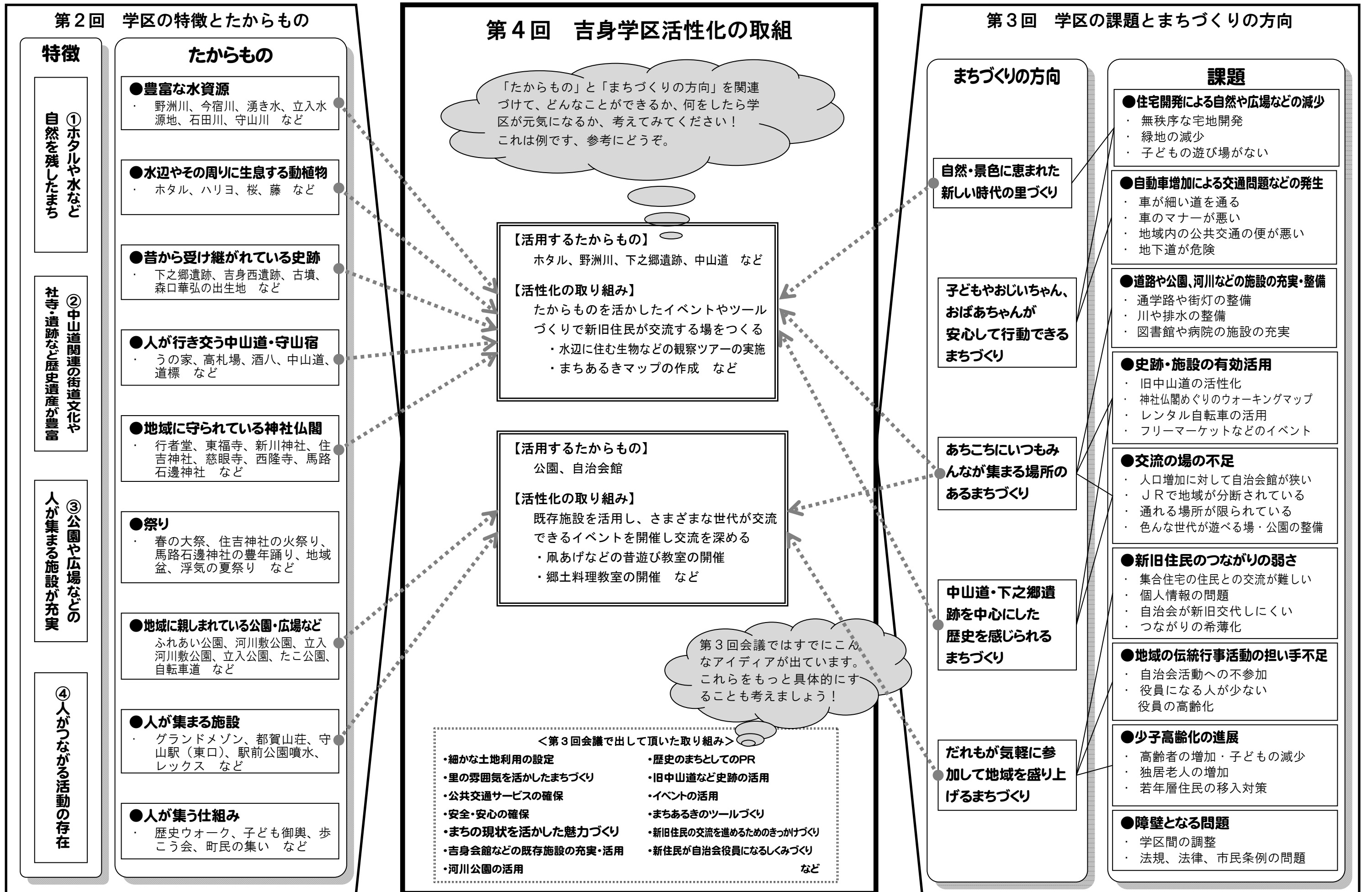
(注) 第2回のワークショップ会議で記入されたもののみ記載。赤字は第3回会議での追加・修正意見

吉身学区の課題・活性化の方向性



(注) 第3回のワークショップ会議で記入されたもののみ記載。

第2回と第3回の成果を踏まえ、第4回は吉身学区を活性化する取り組みを考えます



(注) 第2,3回のワークショップ会議で記入されたものから抜粋